

映画史上最怖の韓流サスペンススリラー

# 映画『ベストセラー』

12/4(土) 公開記念トークショー レポート

<日時> 12月4日(土) 18:40～

<場所> ヒューマンラストシネマ渋谷

<登壇者> (⇒写真・左から)

中瀬ゆかりさん(週刊新潮部長職編集委員)

岩井志麻子さん(作家)



韓国最高のベストセラー作家・ヒス(オム・ジョンファ)は、ある盗作疑惑をかけられ、一瞬にして作家としての名声を失ってしまう。その後、娘のヨニと共に移り住んだ山奥の別荘で、ヨニが突然語りだした奇妙な話を小説として完成させるが、再び盗作疑惑がかけられ、やがてそこに恐ろしい事件が浮かび上がってくる…というベストセラー作家が主演の本作。作家である岩井志麻子さんと編集者である中瀬ゆかりさんの鋭い視点・きわどいトークに、映画さながらに大盛り上がりのトークショーとなりました。

## 【コメント】

**岩井志麻子**：私は盗作したことはありません。何事も体験してみないと分からないように、盗作の本当の怖さも体験してみないと分からないと思う。しかしこの映画を見た日の夜は悪夢にうなされました。悪夢と言っても、変なおじさんが現れて、あの本棚に未発表のものすごく優れたエロ本があるから、いくらでも盗作して自分の作品として発表していいよと言われ、必死に探すというものでしたが…。夢の中で感じていたのは、自分は作品の為に必死に探しているのではなく、オカズにしたいが為に必死になっているということ。創作意欲を上回る自分の性欲に驚きました。

**中瀬ゆかり**：この映画は本当に怖い！夜一人で見ていたら眠れなくなりました。後半にいくにつれ、突っ込みどころも満載になってくるので、そこも楽しんでもらいたいです。しかし韓国の女性は感情の起伏が大きくて、本当に激しい。本作の主演は盗作疑惑に巻き込まれて追い込まれていくので、特にその描写がすごくて、見入ってしまいました。岩井さんと違ってこの主演はあまり性欲はなさそうだったけれど、彼女の演技はすごかったです。

## ■STORY

それは、22年前に姿を消した女が書かせた恐ろしく悲しい物語…

10年間、韓国最高のベストセラー作家として君臨してきたベク・ヒス(オム・ジョンファ)。彼女の新作小説が盗作疑惑を受け、一瞬にして作家としての名声を失ってしまう。その後2年間創作できない状況に陥っていたヒスは、人里離れた山奥の別荘へ娘と向かうことに。堅く閉ざされた2階の隙にある不気味な部屋、家全体に響く奇怪な音、背筋が凍るような雰囲気を持つ家で、娘のヨニが奇妙な言動を取り始める。創作を渴望していたヒスは、次第にヨニが話す奇妙な物語に執着して、その話を小説として完成させるのだが、その話も10年前に発表された小説と同じ内容であることが明らかになり再び盗作疑惑の渦中へ…。疑惑を晴らすために再び村へ足を運ぶが、そこに隠されていたのは村人を巻き込んだ恐ろしい事件だった…！

監督/脚本：イ・ジョンホ 撮影：チェ・ヨンファン 編集：シン・ミンギョン

キャスト：オム・ジョンファ『TSUNAMI-ツナミー』、リュ・スンリョン『アイリス』、ジョ・ジンウン『チュノ』、チェ・ムソン『セブンデイズ』

『ベストセラー』(2010/韓国/カラー/117分/ビスタ/PG12)

©2010 Cinergy House and Echo Film All Rights Reserved.

公式HP：<http://enet-dvd.com/enet/sp/bestseller>

配給：イーネット・フロンティア 宣伝：トランスフォーマー

©2010 Cinergy House and Echo Film All Rights Reserved.

12月4日(土)、ヒューマンラストシネマ渋谷ほか全国順次ロードショー！